

はなわ 議会だより

2021
No.156

発行/福島県埴町議会
令和3年10月15日



収穫の喜びを実感!

昔ながらの足踏み式で脱穀作業
—埴小学校—

9 月定例会

令和2年度決算審議（9月定例会）…… P 4～6
町政を問う（一般質問）…………… P 10～17
委員会 & 追跡レポート…………… P 20～21



埴町議会ホームページ
QR



埴町議会フェイスブック
QR



埴町議会ツイッター
QR

コロナ禍・町の課題解決へ実行された決算

認定

エール（応援）商品券交付事業や木野反分館新築工事、小中学校へのタブレット端末購入事業など、コロナ禍・町の課題解決のため実行された令和2年度決算。歳出決算額は79億6,412万円となりました。

9月定例会の2日目（9月10日）に審議付託を受けた予算決算常任委員会（委員…議長を除く全議員。委員長…吉田克則議員）で9月15日に集中審議を行い、全会一致で一般会計及び各特別会計等を全て認定としました。

委員会付託とは

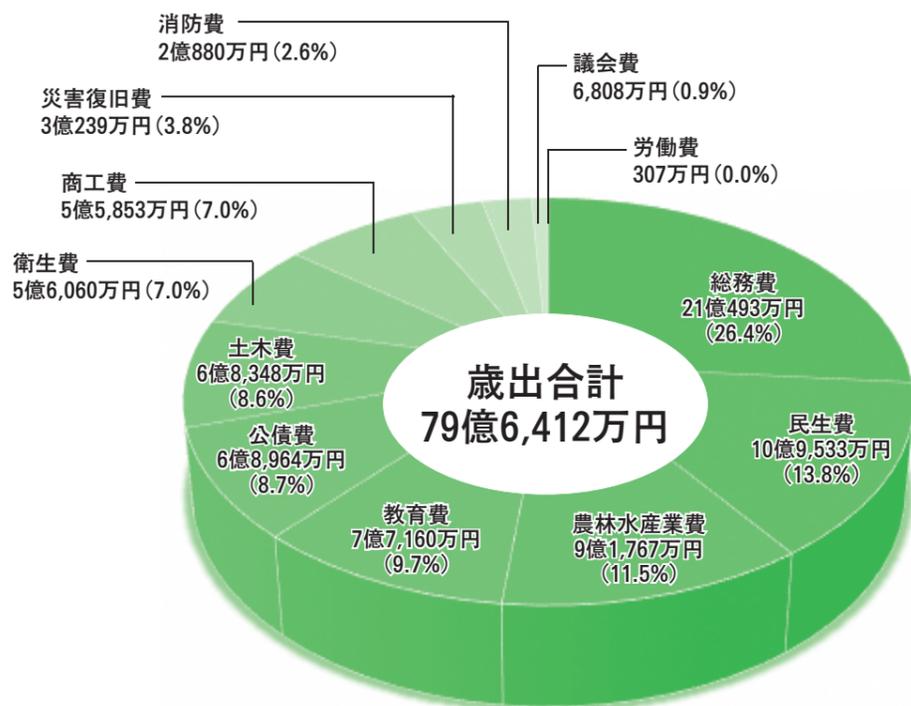
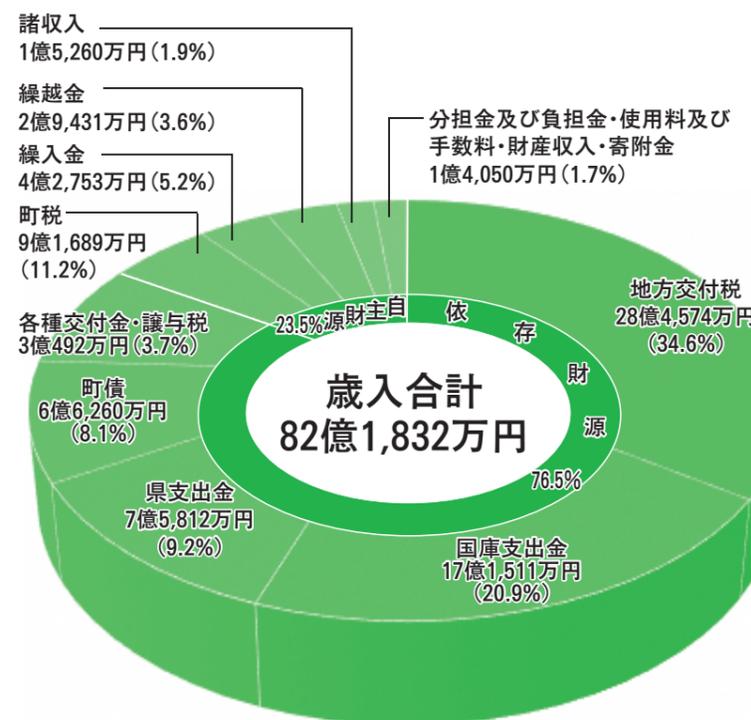
本会議での審議を効率的に行うため、議決に先立ち委員会へ議案等の専門的な審査や調査を委ねること。9月定例会と3月定例会における決算審議は、予算決算委員会に付託し、集中審議を行っています。

<特別会計決算>	歳入	歳出	差額	歳出の前年度比
国民健康保険	9億6,162万円	9億2,581万円	3,580万円	▲6.1%
後期高齢者医療	1億1,001万円	1億995万円	7万円	5.0%
介護保険	10億7,228万円	10億4,808万円	2,420万円	3.2%
農業集落排水処理事業	1億3,057万円	1億3,045万円	12万円	▲4.4%
公共下水道事業	2億791万円	2億766万円	25万円	10.4%
上水道事業（収益的収支）	2億6,616万円	2億4,934万円	1,682万円	2.5%
上水道事業（資本的収支）	0	8,273万円	▲8,273万円	10.4%

歳入前年比 17.2%増

【主な内容】

コロナ関連予算補助金・交付金、ふくしま森林再生事業補助金、地方交付税（普通交付税）測定単位の増、基金繰入金の増など



歳出前年比 18.5%増

【主な内容】

コロナ対策・支援事業、木野反分館新築工事、湯遊ランドはなわ施設管理費、公有施設等整備基金積立金など

監査委員の意見



代表監査委員 金澤 忠良

有利な起債と適切な残高管理により 将来負担の軽減を

1. 決算概況

令和2年度の歳入歳出当初予算は、前年をやや上回る規模。IP告知システム通信機器等更改事業、ふくしま森林再生事業、公民館分館の建設、給食費の無償化等が特徴である。

一般会計・特別会計を合わせた決算額は、前年度比で歳入歳出とも約12億円増加。実質収支比率（特別会計を除く）は3.6%と前年比0.6%下降するも一応は適正な水準にある。

滞納管理に関しては、ここ数年間において収入未済額が減少し改善著しい。また、不納欠損額については、関係法令による正しい処理が定着しつつある。

町債の状況は、一般会計・特別会計合わせた年度末残高は77億78百万円だが、この内77.1%が交付税措置対象となっており、町の実質負担額は町債の23%程度である。

2. 特別会計の状況

純計決算においては5特別会計すべて赤字だが、一般会計から総額5億44百万円の繰り入れにより全会計で黒字。農業集落排水、公共下水道の両会計とも接続率の向上と滞納使用料取り組みが課題。歳入のほぼ71%を一般会計繰入金に依存する収支構造は、町財政にとって大きな足かせとなることを懸念する。

3. 総括

健全財政を維持するため、歳入は有利な町債の活用と国県補助金等獲得への積極的取り組み。歳出はコスト削減努力は当然のこと、資金配分にメリハリをつけることが肝要と思われる。

上水道事業は、「高コスト・低料金」に起因する明らかな不採算構造にある。持続可能な水道事業のため、利用者である住民に負担を強いることにはなるが、料金体系の全面的な見直しは避けられない状況にある。

町長のもと、職員一人一人が既存の考え方にとらわれることなく、新しい発想と改革意識を持って職責を果たすよう期待する。

（決算審査意見書より内容一部抜粋）

令和2年度 決算質疑

9月15日(水)に開催された予算決算常任委員会で、質疑をピックアップ!

一般会計

まぢづくり・くりし

IP告知システム使用料の滞納は督促状を送付している

Q IP告知システム使用料滞納の対応は。

A 緊急時の未設置者への伝達手段は。

9月末納期で納付書を発行している。未納者へは再度送付。年度末に督促状を送付。令和2年度分までの未納世帯者へは、新機器への交換設置はしない。

消防団や携帯各社の緊急速報メールなどの多数の伝達手段で対応している。停電時に利用できないデメリットがあるため、生活環境課と協議しながら情報の多重化を検討する。

水防活動用救命胴衣の配置は

Q 消防団への水防活動用救命胴衣購入(15着)の配備場所は。

A 2分団へ6着、3分団へ3着、5分団へ6着を配備。平成27年度から順次配備し、現在まで76着配備している。

維持管理は各班に依頼

Q 2分団へ6着、3分団へ3着、5分団へ6着を配備。平成27年度から順次配備し、現在まで76着配備している。

ダリア「メダリスト」の今後の活用は

PR・販売に努める

Q ダリア「メダリスト」のオリンピック会場展示本数および今後の活用は。

A プレスセンターへ100本展示した。今後、塙町独自の品種であることから幅広くPR・販売および多く生産できるように取り組む。

メンバーフレンドエリアの成果はイベントツアーを企画・協議している

Q モンベルフレンドエリア年間登録料は変更あったのか。また、成果はあったのか。

A 全国一律で変更はない。現在、メンバーのイベントツアーを企画・協議している。



矢祭棚倉自転車道公衆便所清掃の内容は週1回・月4回清掃している

Q 矢祭棚倉自転車道公衆便所清掃業務委託料だが、衛生面がよくないため委託内容不足では。

A 公衆便所の所有・施設の維持管理は県清掃業務等について町が実施している。週1回・月4回の清掃をダリア工房へ委託している。今後内容を確認し検討する。

湯遊ランドはなわ休館の営業補償の内容は33日間で39名分

Q 湯遊ランドはなわ休館に伴う営業補償は、何日・何名分か。

A 設備の大規模改修工事に伴う休館で、令和3年1月12日から令和3年2月12日の33日間で39名分・補償額は1,300万円である。

地域振興事業交付金、地域おこし協力隊の活動発表は今年度中に実施したい

Q 地域振興事業交付金の交付先団体、また、地域おこし協力隊について活動発表会・報告会の開催予定は。

A 今年度中に、これまでの成果を発表する場を設定したい。

福祉・子育て・医療

第二次救急分担金とは入院救急治療の運営費用

Q 第二次救急医療運営費分担金の内容は。

A 白河広域圏内(9市町村)の夜間休日等の入院救急治療の運営に係る費用。白河厚生病院・白河病院・会田病院・塙厚生病院。

高齢者外出支援タクシー・交付後に使用しない内容は入院等で使用する必要がなくなった

Q 高齢者外出支援タクシー料金助成で、申請・交付後に利用しない方の内容は。

A 申請・交付後に、入院・施設入所・使う必要がなくなったため。

木育インストラクター受講者は13名が受講している

Q 木育インストラクター養成講座受講料助成はいままで実施するのか。

A 期限は定めていない。今後も受講希望の機会を設ける。現在まで13名が受講している。

令和2年度の事業実績【1】

避難場所等案内板設置工事 (16施設) 253万円



コミュニティセンター助成事業補助金 (水元行政区) 1,190万円



IP告知システム GE-PON設備更改業務委託 1億3,398万円



令和2年度の事業実績【2】

ふくしま森林再生事業 (施業6カ所、111.07ha) 1億8,259万円



塙町工一ル商品券 2億1,108万円



湯遊ランドはなわ設備改修工事 1億2,540万円





教育

埴工活性化推進協議会は

令和2年8月31日に開催した

Q 埴工活性化推進協議会の開催内容は。

A 令和2年8月31日開催。現状、県立高校改革懇談会の内容、活性化の取り組みなどについて説明を行った。

リーディングスキルテストの目的は

適切な情報処理能力を養う

Q リーディングスキルテストの内容は。

A 意味・意図を理解するための読解力を養うことを目的にしたものであり、埴中1・2年生と小学6年生が実施した。

図書館業務委託の内訳は

人件費や管理費など

Q 図書館業務委託の内容は。

A 株式会社内田洋行へ委託しており、人件費6名分のほか管理費など。

特別会計

国民健康保険特別会計

資格者証は全額負担で滞納税に充てる

Q 国保滞納者の人数と資格者証の利用方法は。

A 現年度滞納者65名・滞納繰越分78名。資格者証は、医療機関の窓口で全額負担していただき、後で戻す分を滞納税に充てる。

資格者証とは

特別な理由がなく、3年以上国保税を滞納した場合、被保険者証を返還していただき、資格者証を交付する。



上水道事業会計

有収率低下は漏水が原因

Q 上水道事業で漏水の状況は。

A 令和2年度の有収率は80・3%、令和元年度より1・9%下がった。漏水量は推計で12万8,890立法リであった。今後も漏水対策に取り組んでいく。

有収率とは

つくった水道水が、どの程度届けられているかを示す割合。

一般会計8,752万円を増額補正 農業費や商工費など

一般会計補正予算審議

【主な内容】

- ・ 未来の畜産創生事業費補助金 182万円
- ・ 和牛繁殖メス牛導入経費を補助する。
- ・ 農業施設改良費 3,440万円
- ・ 山の神ため池の実施計画策定業務委託料や水路測量設計業務委託料など。
- ・ 地域活性化起業人負担金 280万円
- ・ 三大都市圏の民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かし、地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事していただくもの。令和3年1月に総務省に募集依頼を行い、大手新聞社社員の派遣が可能となった。
- ・ 常豊地区公民館駐車場整備工事 200万円
- ・ ゲートボール場として利用していた箇所を駐車場に整備する。

9月の例会の予定

9月定例会は、9月9日(木)から16日(木)までの会期で開催しました。条例関係6件、過疎地域持続的発展計画の策定、財産の取得、補正予算6件、前年度の一般会計および特別会計等の決算認定7件、財政関連報告2件が上程され、原案どおり可決および認定となりました。また、9月10日(金)に議員発議、最終日に人事案件3件が追加議案として提出され、いずれも原案どおり可決し閉会しました。



ゲートボール場跡地を駐車場に整備します(常豊地区公民館)



体育館跡地を駐車場に整備します(あぶくま高原美術館)

Q 財政調整基金積立金(歳出)はどのように算出されているのか。

A トータルで繰越金の2分の1以上になるよう調整している。

Q 乗用草刈り機購入補助金の交付先と古いものは。

A 道の駅とJAに全額補助。古いものは、払い下げ・修繕して継続使用など協議を進める。

令和2年度の事業実績【3】

木野反分館新築工事 4,554万円



道路舗装補修工事(町道埴勿来線) 1,117万円



GIGAスクール構想・タブレット端末機等購入 3,508万円



議案等の審議結果一覧表

議案第47号	埴町個人情報保護条例の一部改正	議案第57号	令和3年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決 ・ 認 定 ・ 報 告
デジタル庁設置法およびデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律施行による各法改正に伴うもの。		歳入歳出それぞれ168万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億1,818万円とする。主な内容は、マンホール段差解消工事費など。		
議案第48号	埴町個人番号の利用等に関する条例の一部改正	議案第58号	令和3年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律施行による各法改正に伴うもの。		歳入歳出それぞれ74万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ2億3,604万円とする。主な内容は、中継機器修繕費など。		
議案第49号	埴町税特別措置条例の一部改正	議案第59号	令和3年度埴町介護保険特別会計補正予算(第2号)	
新過疎法制定により、固定資産税の課税免除について新過疎法の内容に則した基準となるよう改正。		歳入歳出それぞれ2,648万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ10億7,236万円とする。主な内容は、介護給付費準備基金準備基金など。		
議案第50号	埴町手数料条例の一部改正	議案第60号	令和3年度上水道事業会計補正予算(第1号)	
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、個人番号カード再発行手数料についての規定が不要となったため。		令和3年度埴町上水道事業会計予算の収益的・資本的収入および支出の予定額などについて、それぞれ補正するもの。		
議案第51号	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税等の減免に関する条例の一部改正	認定第1~7号	決算の認定	
東日本大震災により被災した被保険者に係る国民健康保険税等の減免に係る財政支援が、令和3年度分まで延長されたことによる。		令和2年度の一般会計・特別会計および事業会計の歳入歳出決算。本定例会に上程された決算は、予算決算常任委員会に付託され、集中審議の結果、全件とも全会一致で認定とした。		
議案第52号	埴町道路占用料徴収条例の一部改正	報告第4号	健全化判断比率	
福島県道路占用料徴収条例の一部改正による。		地方財政の健全化を判断する指標として、赤字比率や実質公債費率(借金)が早期財政健全化をすべき数値と比べ、どの程度だったのか前年度の決算額を参考に算出されたもので、基準よりもすべて低くなった。		
議案第53号	埴町過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の策定	報告第5号	資金不足比率	
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和3年4月1日に施行されたことにより、過疎債を利用するため計画を策定する。		地方財政の健全化を判断する指標として、農業集落排水、公共下水道、上水道の各会計における資金不足を判断するもので、すべてにおいて資金不足は発生していない。		
議案第54号	財産の取得	諮問第1~3号	人権擁護委員候補者の推薦	
埴町消防団第1分団第3班の消防ポンプ自動車老朽化に伴う更新で、普通自動車免許(3.5トン未満)対応の車両の取得。		令和3年12月31日をもって任期満了となるため、人権擁護委員の候補者として再任・新任で推薦するもの。任期は1期3年で、令和4年1月1日から令和6年12月31日まで。・七宮昭子(上町・再任)・近藤洋一(赤坂・再任)・神永ハル(川上・新任)		
議案第55号	令和3年度埴町一般会計補正予算(第2号)	発議第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	
歳入歳出それぞれ8,752万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ69億695万円とする。主な内容は、農業費や商工費、今年4月の人事異動による人件費に係るものなど。		議員発議による意見書。コロナ対策、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、社会保障等への対応のための地方税財源の充実を求める内容。		
議案第56号	令和3年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)			
歳入歳出それぞれ3,645万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億9,123万円とする。主な内容は、保険給付費支払基金積立金や今年4月の人事異動による人件費に係るものなど。				

健全化判断比率

4つの健全化判断比率で見る埴町の数値	令和2年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15%	20%
一般会計の赤字の程度を指標化したもの	(赤字額なし)	(赤字額なし)		
連結実質赤字比率	—	—	20%	30%
全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したもの	(赤字額なし)	(赤字額なし)		
実質公債費比率	8.9%	8.0%	25%	35%
一般会計が負担する公債費(借入金返済額)およびこれに準じる額の大きさを指標化したもの				
将来負担比率	21.8%	38.1%	350%	—
一般会計が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの				

資金不足比率

各事業別の資金不足比率	令和2年度	令和元年度	経営健全化基準
農業集落排水	資金不足なし	資金不足なし	20%
公共下水道	資金不足なし	資金不足なし	20%
上水道	資金不足なし	資金不足なし	20%

健全化判断比率・資金不足比率の報告

令和2年度決算から算出された財政健全化判断比率の全指標は、いずれも早期健全化基準を下回り、各事業会計(農業集落排水、公共下水道、上水道)の資金不足比率も経営健全化基準を下回っており、埴町財政は健全と判断される。
 なお、国が定める基準を上回ると、財政再生計画の策定や国等の関与による確実な財政再生に取り組むことになる。

議案審議

埴町過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の策定

平成28年度に策定した埴町過疎地域自立促進計画が令和3年度末に期限を迎え、新過疎法による新たな計画を策定するもの。12の持続的発展施策区分のうち10の施策区分について策定するもの。

賛成

バランスのとれた計画案
省エネの観点からも重点的に導入し、運営コストを削減すべき。また、当初から訴えてきた内容が反映されているほか、全体的にバランスのとれた計画案になっている。

吉田広明議員

反対

これ以上の設備投資は疑問
湯遊ランドはなわへの9千万円以上の新たな設備投資(太陽光・太陽熱システム導入)はいかがなものか。今年1月に、1億2,500万円の整備をしたばかりである。

吉田克則議員

討論

採決結果

議案第53号 埴町過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の策定について	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決(賛成8、反対4)	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	—

○：賛成、●：反対 ※なお議長(割貝寿一)は採決に加わらない

スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。



一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自身が原稿を作成していただきます。

一般質問

P 1 1

- リモートスクール
- 給食献立
- みどりの食料システム戦略



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

P 1 2

- 町道真名畑八溝線
- 空き家バンク
- 代替バス



きくち てつや
菊地 哲也議員

P 1 3

- 埴町都市計画
- 水害地区懇談会
- 通学路
- 大規模養豚場



しもじゅうよしと
下重 義人議員

P 1 4

- コロナの諸課題
- 町施設
- 町振興
- ハナワクジラ



ななみや ひろき
七宮 広樹議員

P 1 5

- 生活保護
- 公共交通
など



あおと ようぞう
青砥 与藏議員

P 1 6

- コロナ後の町政
- 役場庁舎
- 経営責任と町の関係



よしだ かつのり
吉田 克則議員

P 1 7

- 敬老会
- ワクチン接種状況
- 役場庁舎



すずき よしひさ
鈴木 元久議員

質問

タブレット端末を利用したリモートスクールは運用できるか

答弁

校内でリモート授業の体験を計画している

質問 事前にリモートスクールの実証をする考えがあるか伺う。
答弁 教師と児童生徒が別教室でリモート授業を体験することを計画している。
質問 全タブレット同時使用することは可能か伺う。
答弁 授業前に電源を入れて電波干渉の発生抑制、タブレット授業の重複を避ける運用を

取っているが、各校の協力を得て全台同時稼働の実施を検討している。
質問 タブレット基本ソフト（OS）の自動更新による不具合発生の対策を伺う。
答弁 自動更新は4週間に1回。児童生徒が画面表示に従い再起動して更新する。不具合が事前に判明の場合、メーカーからの連絡で、

教育委員会が管理者権限で自動更新を止める。教育現場向けに6カ月に1回の自動更新メニューも準備中と通知を受けており、これの活用も検討する。

給食献立の改善を図っているか

データや意見に基づき献立の改善を図っている

質問 献立作成は、食育のどこに主眼をおいているか伺う。
答弁 楽しみながら食への意識を高めることができることを主眼に作成している。
質問 献立改善にはどのような意見等を反映しているか伺う。
答弁 残食量と献立の比較、保護者試食会の意見、感想、各学校の検食日誌、

連絡日誌の意見等を参考に、残食量を削減するよう改善を図っている。
質問 スプーンの使用条件はあるか伺う。
答弁 カレー・シチュー等の献立はスプーンを使用。箸とスプーンの同時提供は給食センターの作業工程上できない。箸かスプーンかで献立を作成している。

質問 埴町産食材使用時の児童生徒への周知について伺う。
答弁 給食ごとに、食に関する情報の資料を各校に配布し、給食時の校内放送・担任の給食指導で紹介・活用している。



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

タブレットの
上手な活用を！



埴中・タブレット授業

みどりの食料システム戦略の検討はしているか
研究を進め、可能であれば取り入れていきたい

質問 水田フル活用ビジョンの助成メニューがホームページ上でなぜ公開されないか伺う。
答弁 助成金は収穫後確定する。作付けで助成金額確定と誤解を生じる可能性があるが、国より、公開せず制度の説明と合わせ周知するよう通知され

質問 みどりの食料システム戦略に、竹パウダー農法が合致すると思う。事前に情報収集等の検討をしているか伺う。
答弁 町の取り組みが同戦略に合致するものであるか、研究・情報の収集に努め、可能であれば取り入れていきたい。

「みどりの食料システム戦略」とは
生産力を高めながら
持続可能な農業などを
実現するための方針



議員 菊地 哲也

子どもたちの未来へ残したいもの

町道真名畑八溝線の復旧は

今年度、着手する

質問

答弁

質問 真名畑トンネルに水供給のための水道管が入っているのか、名水百選になっている八溝の水を町水道に利用する可能性はあるのか。

答弁 トンネル内に水道管は入っている。各水源地区からの供給量は足りているので八溝の水を利用することは現時点では考えていない。

質問 真名畑地区の老朽化した給水設備の整備に八溝の水を利用する考えは。

答弁 現在の水源地を整備する。

質問 東日本大震災で崩落し通行止めになっている町道真名畑八溝線の復旧の現状は。

答弁 緊急自然災害防止対策事業債を財源として復旧工事を今年度着手するが、国有林の借上げ等に時間を有するので、供用開始はまだ先になる予定。

質問 全国源流の郷協議会の加盟について。

答弁 八溝山系は久慈川源流域として国土、環境保全としてわれわれの生活には大変重要である。源流を起点として新たな形での地域、町づくりにつなげていきたい。

質問 八溝山系の豊富な自然の活用は。

答弁 目的をしっかりと定めて源流の素晴らしさを発信していきたい。棚倉町、矢祭町とも連携していきたい。



東日本大震災で崩落し通行止めになっている町道真名畑八溝線

空き家バンクの現状は

都会から多くの問い合わせがある

質問 埴町空き家バンクの現状は。

答弁 ホームページの閲覧数は8月末までで9,935件、7月だけで1,241件、都会からの問い合わせが毎日のようにある。

質問 町独自の補助金等はないか。

答弁 現在、空き家取得にはない。今後、町単独の補助金を検討し移住対策に取り組んでいく。

質問 反社会的勢力等の関係者が空き家を購入することへの防止策は。

答弁 福島県暴力団防止条例により警察が関与することになる。

夏休み等の代替バスの運行経路について

今後検討する

質問 町が夏休み等に中学生のために補助金を出している代替バスを中学校経由にするには。

答弁 埴町地域公共交通活性化協議会で検討していきたい。

質問

埴町都市計画水害への対策は

答弁

雨水排水には事業認可が必要

質問 都市計画当初の策定時とは大きく環境が変化している中で、水害対策計画を盛り込めないか。

答弁 都市計画の事業で雨水排水の対策をするためには、事業認可を受けなければならぬ。しかし、ますます増加する自然災害に対処する必要があり、都市計画事業として検討すべきと考えている。

質問 土地利用都市建設の整備および市街地開発に関する計画とくらタウン末広事業の関連性は。

答弁 埴町の都市計画においては、道路、公園、下水道のみの指定となっており直接の関係はない。しかし、土地利用の利便性が図られたことから、基本方針に沿った事業であったものと考えている。

質問 さくらタウン末広の今後の状況は。

答弁 分譲の状況は、22区画のうち21区画が販売済みとなっている。住宅建築の状況は建築済みが14戸、建築中が3戸、また内訳をみると県外を含め町外が7戸、子育て世代が12戸、地元産木材使用が6戸、町内建築業者施工が5戸となっており、定住人口の確保、地元への貢献が図られたと考えている。

水害に遭われた各地区での懇談会は

地域の要望に応えたい

質問 去る7月21日に埴町第一コミュニティ消防センターで『東日本台風』で最も浸水被害に遭われた埴3区・4区の方々を対象に懇談会が開かれたが、その他の被害に遭われた各地区での懇談会の考えは。

答弁 代官町付近以外にも竹之内、川上、植田地区など浸水被害に見舞われました地域の要望にお応えしたいと考えているので、ご相談いただければと思っております。

久慈川の上流部に大規模養豚場

法律・条例等により危惧はしていない

質問 久慈川上流部の棚倉町瀬ヶ野地区に大規模養豚場ができる計画がある。直線距離にするとう埴町役場から片貝地区に相当するが、水は上流から下流に流れてくるため注意喚起を怠らないようお願いしたい。

答弁 養豚場操業に当たっては、各種関係法令に基づく申請遵守が必要となる。また、近隣住民への説明等も行われているため、危惧はしていない。



議員 下重 義人

聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥



通学路の危険性および歩道整備状況は

「通学路安全推進会議」での対応

質問 今年6月28日、千葉県八街市で児童5人が死傷した大変悲惨な事故が発生した。このような事故から子どもたちを守るために、常にとどのような対策を行っているのか。

答弁 埴町では毎年『通学路安全推進会議』を開催し、新たな危険箇所等については現地で合同点検を行い、国・県等の道路管理者へ道路改良の要望事項として取り上げている。



七宮 広樹 議員

始める力も大事だけど、やりきる力も大事!

新型コロナウイルスの影響を受ける諸課題

質問

答弁

見極めて対応している

質問 ワクチン接種は12歳以上からできるが、埴町の小・中高生徒の接種状況と、今後の接種に関する周知の対応は。

答弁 9月3日現在、接種対象者のうち、1回目接種215名・2回目接種165名で、今後接種希望者には個別接種で対応していく。また本人希望接種のため、過剰にならないかたちで周知を行う。

質問 全国的にも変異株の猛威が続き、また町内でも感染者が出ていますが、中学生の修学旅行の実施対応は。

答弁 令和4年1月8日土曜日に、規模縮小・時間短縮の開催で計画している。

質問 本来であれば宮城県方面に9月7日〜9日で計画していたが、日程を10月27日〜29日に延期し、宮城県仙台・松島方面で計画している。

質問 今年1月、新型コロナウイルスの影響で延期した成人式の開催時期と対応は。

答弁 令和4年1月8日土曜日に、規模縮小・時間短縮の開催で計画している。

町施設の活用状況と、今後の計画は有効利用を図っていく

質問 町所有の施設に入る障害者団体のダリア工房・ウッドピアはなわ2団体が、建物の老朽化に伴い、町から立ち退きが言い渡されている。両団体に對する支援策と、障害者救済に對する補助金支援の考えは。

答弁 建物貸付契約書に沿って進めているが、町の財政を考えた上で協議していく。

質問 ダリア工房・ウッドピアはなわが立ち退きの活用は、どのような計画を考えているのか。

答弁 建物を解体し、高齢者福祉関係で利活用できればと思っている。



町所有の土地・建物を利用しているダリア工房・ウッドピアはなわ

町振興に関わる現状と見通しは着々と進めている

質問 埴町のダリア・メダリストを、東京2020オリンピック・パラリンピックに使用されることを願っていたが、活用状況と今後の展開は。

答弁 パラリンピックのメディアセンターに装飾用として使われ、各国のメディア関係者の癒やしにつなげてくれたと信じている。花の価値を高める取り組みを継続していく。

質問 旧・薩摩酒造蒸留所の売却状況と見通しは。

答弁 (株)奥久慈酒造蒸留所が、酒造免許取得と酒造施設整備を進めている。酒類製造免許許可後に、町と土地建物の(仮)売買契約を協議していく。

質問 旧・薩摩酒造蒸留所の売却後を見据え、事業主と農家をつなぐ、遊休農地と麦生産の取り組みは。

答弁 企業の取り組みに協力してくれる、生産者の掘り起こしを進める。

ハナワクジラの対応は

埴町の宝として捉えている

質問 西河内地区の1千700年前の地層から「ハナワクジラ」の全身骨格化石が発見されたが、町の対応と今後の取り組みは。

答弁 町の観光上のPRツールになるのではないかと期待している。

質問 小・中学校の授業等に取り入れる考えは。

答弁 児童生徒が、1千700年と言う視点で、生命の歴史を学ぶ上で重要と考えている。

その他の質問

質問 埴・大津港線の上町地区の通学路の歩道幅員確保の進捗状況は。

答弁 順調にいけば、来年度に着工できるのではないかと考えている。

生活保護の受給状況は

受給者は横ばい

質問 コロナ禍の拡大の中で、生活保護※受給者が増えていると言われているが、現在の埴町の生活保護受給状況は。また、外国籍の受給者はいるのか。

答弁 個人申請↓埴町調査↓県確認↓県が支給認定する。埴町の対象者は78名で、ここ数年間横ばいで増えている。外国籍の受給者はいない。

質問 コロナ禍の拡大の中で、生活保護法は1950年に制定され、「生活に困窮する国民」に限って施行された。また、制定されてから4年後の1954年、厚生省社会局長名通達で外国人にも支給された。あくまでも人道的観点から《当分の間》の意味合いだったが、現在も続いている。外国籍のうち7割が一部の特定の外国人への支給。受給率は、日本の6倍近くの人が支給を受けている。

質問 「移動手段を持たない人々の移動手段の確保に取り組む」というのが、埴町の都市計画・長期総合計画、町づくりの目標であるが、コミュニティバス計画の進捗状況を伺う。

答弁 過疎地域の持続的発展の支援に関するコミュニティバス運営事業の方向性は、令和4年・5年に田代・那倉の2地区で2車両運行を進めていく予定。

公共交通空白地区の対応は令和4年から始める



秋田県横手市のコミュニティバス

質問 埴町地域公共交通活性化協議会の審議経過について伺う。

答弁 コロナ禍の拡大の中で、令和3年度協議会は書面による決議が行われた。ワーキンググループで埴町に合った交通網を検討していく。

質問 元々は町長が提案していた企画である。町長の決意を伺う。

答弁 しつかりと対応する。

農家への支援策は

販売対策を進めたい

質問 今年度の米価は、コロナ禍の拡大の中で大量のコメ余りが起き、米価は1万円以下になるだろうと言われているが、離農・耕作放棄が進むと考えられるが、農家への具体的な支援策を伺う。

答弁 国の政策が重要である。献上品の埴のコメは評価が上がっているため、おいしさをアピールすることができると思う。販売対策を進めたい。

商店街・農業・工業の活性化は

商工会へ働き掛ける

質問 現在の社会では、IT技術による情報拡散と情報収集などに対応できる能力を最大利用することが必要だと考えられるが。

答弁 商工会へ働き掛けをし、町の魅力を再認識し、発信する取り組みを進めたい。

埴工業高校の存続は

議論を重ねたい

質問 埴工業高校の受け入れは、来春をもって終了する。現状において存続は難しいと思う。別の企画が必要だが。

答弁 コロナ禍の影響で存続の活動が制約され、うまくいかない状況である。議員の協力をいただき、議論を重ねたい。



青砥 與藏 議員

経済も健康もバランスが重要

一般質問

一般質問



よしだ かつのり 議員 吉田 克則

この次は、役場新庁舎建設問題を一般質問!!

新型コロナ後の町政は

しっかり取り組む

質問

答弁

質問 新型コロナ感染症をどのように捉え、今後の町政を進めていくのか。

答弁 甚大な自然災害と同様に国を挙げて対応しなければならぬ。未曾有の大災害と捉えている。第一に考えたのは鎮静化させるワクチン接種に傾注した。第二にエール商品券を町民一人一人にお渡しした。しっかりと取り組んでいきたい。



福祉会館で行われたワクチン接種

一般質問

役場庁舎の基本設計は

華美な建物はいらぬ

質問 8月27日議会全員協議会で役場庁舎設計について説明を受けた。非公開によるプレゼンテーション、ヒアリングを行い審査したとあるが。

答弁 審査員が業者名等、分らないようにできる限り先入観が無いように公平な形で審査をした。

質問 基本設計・実施計画に町長の考えと思いが入っているのか。

答弁 委員会等には参加していない。担当職員に話をした。お金は掛けたくない、事務所機能がしっかりとしたい。屋根はトタン板で良い。骨組みは鉄骨、木を多用した温もりがある建物であってほしい。職員の考えを信頼して任せている。

質問 町長は町税と住民サービスとの関係をどのように考えているのか。

答弁 住民サービスの提供は、町税のみならず地方交付税や国県支出金等各種財源を充てながら行っている。町民に税金の負担をいただいている。

質問 IP告知サービス使用料の無料化できないか。

答弁 システムには高額な税金が投下されている。無料化が可能かどうかも含めて担当課とも話し合いをしてみたい。

経営責任と町の関係は 取締役を兼ねる法人

質問 町長が会社社長等代表になつていて経営責任と町との関係はどのようになっているのか。法人格を持つ組織経営責任者(町長)と町との関係は区別すべきものであり条例等で明確にしておく必要があると思うが考えは。

答弁 株式会社振興公社を指していることかと解している。町が資本金2分の1以上を出資している法人にあるために地方公共団体の長が取締役を兼ねる法人となるため、条例等で明確に定める必要が無いと解している。

質問

敬老会について、満80歳以上は何名か

答弁

9月1日現在1,243名

質問 43行政区のうち、敬老会を実施する行政区とその人数は。

答弁 11行政区で184名。

質問 中止を決定した行政区と人数は。また、中止を決定していない行政区は。

答弁 18行政区で540名。検討中が14行政区435名。その他、藤井ハイム等の入所者84名。

質問 80歳以上の高齢者一人に3,000円の助成金を支給する考えは。

答弁 中止をした行政区には支給しない。

質問 町では、流灯大会も花火だけで中止。また、産業祭、消防秋季検閲も中止と決定している中、敬老会を中止にできなかった考えは。

答弁 コロナ禍において、制限の中つらい思いもあるが、改善された地域で高齢者に対して楽しい行事の一つとして決定した。

質問 昨年1年間の窓口受付の利用人数は。また、ユニバーサルデザインとは。

答弁 令和2年総合窓口利用人数13,211件、その他多数。誰でも分かりやすいデザイン。

65歳以上のワクチン接種状況は

9月3日現在3,210名中、2回目2,957名が接種

質問 64歳以下の1回目、2回目の人数は。

答弁 4,546名中1回目3,386名、2回目3,251名。

質問 12歳以上16歳未満の1回目、2回目の人数は。

答弁 653名中1回目95名、2回目54名。今後希望される方は、医療機関で接種を行う。



9月12日に開催した笹原中山間行政区合同敬老会

すずき もとひさ 議員 鈴木 元久

腕より始めよ



議場で活発な質疑が行われた全員協議会

議員の意見を町へ提出

庁舎設計・議場関係レイアウト

ひとことインタビュー

令和3年9月定例会で、リモート傍聴をされた方へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



しもじゅう さとみ 下重 聡美さん (材木町)

活性化そして安全安心な町づくりに生かしてほしい

― 傍聴したきっかけは ―

今まで一度だけ区長のと
きに傍聴したことがあり、
それ以外は「はなわ議会だ
より」を読んでおりました。
今回、議会をネット配信し
ていることを知り、自宅で
傍聴しました。

― 傍聴した感想および 議会に対する意見や要望 ―

各議員の方々が、町行政
に関わる事柄をさまざまな
観点から問題提起し、質問
していることに関心を致し
ました。ただし、質問の内
容によっては、一問一答で
はなく関連事項として一括
質問した方が、時間を有効
に活用できるのではないか
と思いました。

これら一つ一つの質問事 項が、今回の議会で終わる ことなく、今後の埴町の教 育の場、地域社会の活性化 そして安全安心な町づくりに 生かしていただきたいと思 います。

― 町に対する 意見や要望 ―

役場新庁舎改築は、町民
の負担が掛からないように
していただきたい。また、
気軽に利用できるコミュニ
ティの場として使える所も
あってもいいと思います。

これまでの経緯と設計案が 示される

役場庁舎設計に関する全員
協議会を8月27日(金)と9
月9日(木)、議場で開催し
ました。総務課長ほか説明員
より、これまでの経緯説明と
設計・レイアウト案が示され
ました。※9月9日は、設計
業者である株式会社楠山設計
も同席・説明。

Q 町民ホールは何をする ホールか。

A 作品展示や行事スペー
スなど、町民が利用で
きるスペース。

Q 現在と同じ総合窓口 か。

A 各課窓口・受付にな
る。

Q 議場は多目的使用にす るのか。

A 議場を避難所にするの
も一つの案。現時点で
はまだ決まっていない。議員

の皆さんの意見を聞き、使い やすいのが望ましい。

Q 議場の広さ・大きさ
は。
A 現在とほぼ同じにな
る。

議場関係の設計・レイアウト案 から各議員選択

2回の説明を受け、その後
9月14日(木)に再度全員協議
会を開催し、町からあった議
会関係の設計・レイアウト案
(A・B・C)から、各議員
それぞれの案がよいかを回
答。とりまとめたものを町へ
提出しました。

町議会では11月4日(木)、
5日(金)、総務および経済
常任委員会合同行政視察で桑
折町および大熊町役場庁舎を
視察予定です。今後、視察し
た内容を精査し、利便性の高
い庁舎建設に向けて町と協議
を進めていきます。

利便性の高い庁舎を目指す



あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

子ども・子育て制度の基本理念については
(平成30年9月定例会)

子どもの居場所や子ども食堂、引きこもり対策での児童生徒の在宅訪問型事業など、個別取り組みなどはどうするのか。

答弁

子ども食堂は協力しながら支援をしていきたい

地域のボランティアが子どもたちに対し、無償または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取り組みである。埴町には取り組みを行っている団体はないが、全国的にも多くの事例があり、効果的な事業となることが期待できる。

その後

運営体制の整備をし実施予定

令和3年6月8日 B&G財団から補助対象の審査通過通知により、7月5日「子どもの第三の居場所改修設計業務委託入札」を実施。後日、業務委託契約締結され、令和3年9月定例会において、「埴町過疎地域持続的発展計画(案)」の説明に盛り込まれた。今後は、運営体制の整備をしながら、実施予定となった。

こども園に遊具設置の予定は
令和2年6月定例会

こども園見学の際、外の遊具がなかった。遊具を使わずに自分たちで遊びを考えるため、園庭を広く使うため、遊具による事故のおそれ、それとも予算的に難しいのか、今後どのような計画を持っているのか。

答弁

要望を聞き検討する

一台の大きなすべり台を基にして広い園庭を使って自由に子どもたちの遊びを創造させる、というコンセプトでやってきたが、運動会もありどのように園庭を使っていくかということも含め、先生方や保護者の要望を聞き検討していきたい。

その後

今年度、県産材遊具を設置予定

今年度、大型木製すべり台1基、雲梯1基、はん登棒1基、3連鉄棒1基を設置予定。全て県産材を使い、財源は埴町森林環境譲与税基金。



GIGAスクール授業と
学校給食センターの概要

総務常任委員会報告

・調査日 令和3年7月13日(火)
・場所 埴中学校
・出席委員 学校給食センター
七宮広樹委員長
ほか委員全員(計7名)

・調査のまとめ
(1) GIGAスクール授業の概要
GIGAスクール構想・令和3年度における整備内容・令和3年度における整備予定について、経緯と現状、今後の取り組み内容について説明を受けた。

タブレット端末は小中学校合わせて555台用意されているが、破損・不具合等による予備数に不安を感じた。またワイヤレスヘッドセットが小中学校全体で34セットしかなく、充実を図るためにも一人1セットの必要性を感じた。また授業の様子も拝見したが、先生・生徒と共に上手くタブレットを活用し授業が進められていたことに安堵した。

国が進めるGIGAスクール構想のため、補助金や交付金が充てられているが、一般財源からも少額であったが支出もあり、今後の整備に予定されている電子黒板・モバイルWi-Fiルーターの購入や、ICT支援員・GIGAスクールサポーターの配置にもしつかり目を向けていきたい。

(2) 学校給食センターの概要
現状の学校給食副食加工業務と学校給食搬送等業務について説明を受けた。

小中学校の年間給食数・182回、こども園等・165回を、質・量共に栄養バランスの取れたメニューで、地元食材を活用しながら安全に提供していると聞く。また、食育の学びを受けることもあり、小中学校共に残食率も低いと報告を受けた。特に注意を払うこととして、食物アレルギーをもつ生徒園児には、保護者から申し出を確認しながら提供していると聞く。現在町では給食費を全額支出しているが、1食当たりの平均単価は小学校で267円、中学校で312円、こども園等で252円であった。

ふくしま旬の食材等活用推進事業から児童・生徒数等から算出される補助金が出ているが、今後の町の財政圧迫に注意深く見ていきたい。最後に給食の試食もしてきたが、質・量共に大変満足したものであった。



道の駅はなわの施設管理と
町有林の管理状況

経済常任委員会報告

・調査日 令和3年7月6日(火)
・場所 現地
・出席委員 下重義人委員長
ほか委員全員(計6名)

・調査のまとめ
(1) 道の駅はなわの施設管理
埴町では、通過から滞在される町づくりを目指し、地元農産物や加工食品等の直売を行い、地域活性化への期待を込めて平成15年4月にオープンした。平成26年から指定管理として、一般財団法人天領の郷はなわにより、生産農家の所得向上にぎわいの創出が図られてきた。年間レジ通過者数は最大で30万人台であったが、令和2年度はコロナ禍の影響で若干減少している。指定管理料の町が負担すべき割合等については検討の余地もあると思われるが、施設の維持、管理、運営するスタッフのモチベーションを低下させるようなことがあってはならないと考える。今後は、町の生産者等のために販路拡大に努めてもらいたい。

(2) 林業アカデミー実習林等町有林の管理状況
湯岐地区の町有林は、笹原地区の部分林組合が管理していた立木を町が購入して町有林となった。そして県の林業アカデミー開設により誘致活動を行った結果、令和3年3月に実習林地として認定された。今年度は短期研修が行われ、来年度からは格的な長期研修が行われる。より一層の活用が期待される。その一方、下刈りの必要性も感じた。長期研修の中で実施されることを望む。この実習林が、これから林業を目指す若者たちに大きく貢献できるように期待したい。



議会だより モニターさんの声

1. 表紙及び裏表紙

- ・木製の灯籠を小学生が作るのは他ではあまり聞かない。とても良い木育事業であると思う。
- ・キルトメイトさんが会員を募集しているので、作品の写真がもう少し大きいと活動の様子や会員さんの力作が目立ってよかったです。

2. 定例会の本会議メイン記事

- ・大きな議案がピックアップしてまとめられていて分かりやすい。
- ・補正予算が、コロナ関連でどのような事業に使われるか詳しく知ることができた。
- ・コロナに関する助成や補助、ワクチン接種等については、随時まとめて載せてほしい。

3. 一般質問関連

- ・埴町の将来に関する大きな問題から身近な問題まで、全部を読むと町の現状がよく分かる。
- ・コロナワクチン接種については、内容が重複しているところがあるので、まとめた方が見やすいのではないかな。
- ・各議員がそれぞれの分野で多岐に渡り問題提起をしていることがうかがえる。未来を担う子どもたちや女性にとっても、この議会だよりが政治を知る道しるべになればよいと思う。

前回7月16日発行の議会だより155号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

4. 後半ページ

- ・3月定例会から6月定例会の間の期間の議会の活動内容がよく分かった。
- ・所管事務調査レポートや追跡レポート等により、さらに詳しく現在の町政状況が分かり興味深かった。

5. その他ご意見

- ・小中学生とのコミュニケーション（質問コーナーなど）を取り入れながらの企画はどうか。議会だよりを身近に感じてもらうきっかけづくりを。
- ・町民にとって、新庁舎建築は関心が強い。建築計画についての動きや活動・進捗状況を町民に報告し、意見を聞きながら取り組んでいったらどうか。
- ・コロナや農林業など、関連する質問を複数の議員が行っているが、そのような質問はまとめてみてはどうか。
- ・若い世代が町政に参加するまず最初の一步は、議会だよりを読むことだと思う。



❖ 議会今後の予定 ❖

- 令和3年10月15日(金)
東白衛生組合議会第3回定例会
組合議員(4名)
- 令和3年10月18日(月)
経済常任委員会所管事務調査
下重義人委員長ほか委員(計6名)
- 令和3年10月20日(水)
福島県町村議会議員研修会
全議員(13名)
- 令和3年10月22日(金)
総務常任委員会所管事務調査
七宮広樹委員長ほか委員(計7名)
- 令和3年11月4日(木)・5日(金)
総務および経済常任委員会合同行政視察研修
桑折町、大熊町、福島第一原子力発電所他
全議員(13名)

町議会ホームページ 議会の様子(一般質問)を視聴できます

「埴町ホームページ」→「埴町議会」→「議会中継」をクリックすると動画を視聴できます。
※議会終了後、2～3週間後の配信になります。

※その他の質疑は、「会議録」をクリックしご覧ください。



議会活動出欠状況

令和3年7月1日 ~ 令和3年9月30日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
3.7.6	経済常任委員会(所管事務調査)	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	○	-
3.7.7	広報常任委員会(議会だより編集)	-	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-
3.7.13	総務常任委員会(所管事務調査)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○
3.8.27	全員協議会(役場庁舎設計についてほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.1	議会運営委員会(9月定例会運営)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
3.9.3	全員協議会(農業集落排水施設使用料についてほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.9	9月定例会(1日目:議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.9	全員協議会(役場庁舎設計に関する協議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.10	9月定例会(2日目:議案説明、委員会付託)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.10	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○
3.9.10	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-
3.9.10	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-
3.9.13	9月定例会(3日目:一般質問5名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.14	9月定例会(4日目:一般質問2名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.14	全員協議会(役場庁舎設計・議会レイアウト案の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.15	予算決算常任委員会(決算審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.16	議会運営委員会(追加議案)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
3.9.16	全員協議会(追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.16	9月定例会(最終日:議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.9.16	議会運営委員会(9月定例会検証)	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

埴町へ来て7年、今まで町政や議会に関わる機会はほぼありませんでした。学生の頃授業で学んだとはいえ、知識止まりで実際住む町の運営について詳しく知ろうとすることもなかった



すずき 彩乃さん
(上町)

町についてもっと考えていきたい

議会だよりを読むことは町政参加への第一歩です。モニターとして若い世代も興味を持てるような紙面づくりを協力していきたいと思えます。

ように思います。しかし、子どもが生まれ親として過ごす中、この町についてもっと考えていきたいと感じるようになりました。



はが 元昌さん
(川上)

町を知る情報収集ツール

「第二の人生を故郷で」とUターンし4年目になります。埴町のあれこれをもっと知らねばとの思いもあり、議会だよりモニター引き受けた次第です。議会だよりを読んでみると、各議員の多岐にわたる質問は

地域や立場、職業におけるそれぞれの課題が浮き彫りとなり、そこに町の現状が示されていました。長らく町を離れていた私たちにはとてもありがたい情報収集ツールとなっております。この町で暮らす一人一人が、町政をより深く知るためにも、情報の宝庫といえる議会だよりが今以上に身近なものになることを願っています。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：笹原少年野球クラブ
 活動場所：笹原小学校校庭および体育館
 指導者：鈴木 一徳および保護者
 保護者代表：鈴木 慎也
 部員：15名（6年生4名、5年生2名、4年生9名）

頑張れ！ 笹原少年野球クラブ

設立5年目で、笹原小学校の児童を対象に軟式野球クラブを設立し活動中です。野球を通して、元気なあいさつはもちろん、思いやりの心、感謝の心、そして仲間と協力していく協調性等を学ぶことを目的とし、監督の鈴木一徳さんをはじめとした方の指導を受け、野球の面白さ・醍醐味等を感じて楽しく練習しています。

練習日は火曜日、木曜日（午後4時～6時まで）土曜日（午前9時～正午まで）の週3日です。年間の行事としては、入団式、環境美化活動（ゴミ拾い）、昼食会、クリスマス会、バーベキュー、野球見学、地域大人チームとの練習試合、卒団式等を実施し、保護者等も積極的に参加しています。



地域をきれいに（ゴミ拾い）



設立5年目、精力的に活動しています

編集後記

開催の是非が問われた東京2020五輪は、17日間の期間中、多くのドラマが展開されました。緊急事態宣言下で開催されたオリンピックで、無観客で行われた初のオリンピックでした。

難問を前にして閉会までこぎつけた大会は、日本人の諦めない、たくましさを感じました。また、開催国日本人の強さを痛感しました。コロナの終息と同時に、日本が大きくジャンプアップすると確信しました。

『日本はすごい』
 当議会だよりも金メダルを獲得するため努力します。

青砥 與藏



あなたも議会を傍聴してみませんか

令和3年12月定例会は12月9日(木)からの予定です

場所 役場2階 議場

傍聴時は感染症予防の観点からマスク着用をお願いします



広報常任委員会

委員長	青砥 與藏
副委員長	菊地 哲也
委員	吉田 広明
委員	七宮 広樹
委員	吉村 守広
委員	鈴木 元久